

中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）の取組状況について

1 東京都における英語教育の取組

(1) 国の動き

- 平成23年度～ 小学校高学年において外国語活動が必修化
 - 令和2年度～ 小学校中学年に新たに外国語活動を導入し、高学年において教科として外国語を導入
- ➔ 小学校の学びを踏まえ、中学校及び高等学校では4技能の言語活動を通してコミュニケーションを図る資質・能力を育成

(2) 東京都の取組 **小・中・高校で一貫した英語教育を推進**

共通

- ・いつでも、どこでも、誰でも、学べる英語学習環境（TOKYO ENGLISH CHANNEL）
- ・体験型英語学習施設（TGG） ・教員海外派遣研修 ・国際交流の推進 他

小学校

- ・英語教育を推進する教員の採用
- ・英語専科教員配置 他

中学校

- ・少人数習熟度別指導の充実
- ・動画による教材の公開
- ・パフォーマンスの普及・啓発 他

高等学校

- ・ネイティブ・スピーカーの人材活用
- ・オンライン英会話の実施
- ・指定校事業 他

- 小中連携の充実
- 生徒の英語力の向上
- 生徒の英語によるパフォーマンスを高める指導の充実等

← 一定の成果があがっており、取組を更に加速することが必要

2 ESAT-J の概要

(1) 目的

- 「話すこと」の能力を測るアチーブメントテストとして実施し、その結果を**小学校、中学校及び高等学校における英語指導の改善**に活用
- 義務教育の学習の成果を的確にみるために、都立高校入学者選抜において英語4技能のうち「話すこと」の能力について **ESAT-Jの結果を活用**

(2) 事業スキーム

- 都教委と、試験の実施・運営に関する実績のある事業者が、**協定を締結**し、民間の知見を活用して新たなスピーキングテストを**共同で開発・実施**
- **都教委の監修**の下で作成された独自問題により実施
- 協定等にて個人情報管理の徹底及び禁止行為を規定し、**公平性・中立性を担保**

(3) 実施方式

タブレット端末を使用し、解答音声を録音する方式

(4) 評価

スコア（※）及び 都教委による ESAT-J GRADE（6段階評価）

※IRT（項目応答理論）により、採点結果を統計的に処理し算出

(5) 結果返却

個人結果帳票（スコアレポート）、学校及び自治体へのデータ提供

(6) 特別措置

14区分の特別措置を設定

(7) 令和4年度本実施について【都立高校入学者選抜に結果を活用】

実施日：令和4年11月27日（日）

※実施日に受験できなかった場合の予備日 令和4年12月18日（日）

会 場：都立学校、民間施設 等

3 ESAT-J の経過

	対 象	実施規模	検証事項	学校への支援 等	東京都の取組 等
令和元年度 (2019年度)	都内公立中学校（抽出校）	約8,000人 (77校)	・出題内容の妥当性 ・採点の精度	・問題（動画、スクリプト）等の公表（以降継続） ・教員向け結果帳票送付（以降継続）	・「中学校英語『話すこと』に関する能力育成のための映像資料・指導資料」の配布 ・TGGの活用 ・教員研修の実施（平成29年度～令和元年度）
令和2年度 (2020年度)	都内公立中学校等（抽出校）	約9,200人 (101校)	・ウェブによる申込み ・外部会場における実施運営 ・出題内容の妥当性	・問題リーフレット及び問題活用事例集を全校へ配布	・「TokyoGlobalStudio」（オンデマンド教材）の配信開始 ・話すことの練習ができる動画「『話すこと』トレーニング」の公開 ・「授業力向上セミナー」の実施
令和3年度 (2021年度)	都内全公立中学校等（全校）	約64,000人 (592校)	・申込から結果返却までのフロー ・全校規模想定での実施 ・危機管理体制の検証 ・新型コロナウイルス感染症対策 ・出題内容の妥当性	・全校対象説明会の開催（以降継続） ・生徒・保護者向けリーフレットの配布（以降継続） ・「解答の分析及び指導のポイント」を全校へ配布（以降継続）	・「TOKYO ENGLISH CHANNEL」の開設 ・「授業力向上セミナー」の実施
令和4年度 (2022年度) 以降	都内全公立中学校等（全校） ※ 私立や他県の中学に在籍し、都立高校への入学を希望する生徒も受験可	都内公立中学校等 在籍生徒		・指導好事例の提供	・英語学習教材や都の取組へガイドするポータルサイト「Tokyo GLOBAL Student Navi」の開設

4 令和3年度 出題・結果の概要

(1) 出題形式と評価の観点

ア 出題のねらいと形式

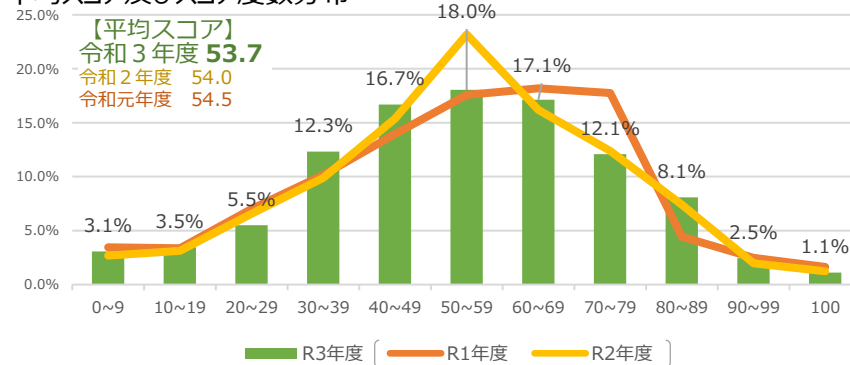
Part	出題のねらい	出題形式	出題数	評価の観点		
				コミュニケーションの達成度	言語使用	音声
A	英語音声の特徴を踏まえ音読ができる力をみる。	英文を読み上げる	2			✓
B	図示された情報を読み取り、それに関する質問を聞き取った上で、適切に回答する力や、図示された情報をもとに「質問する」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」など、やり取りする力をみる。	質問を聞いて回答する・意図を伝える	4	✓		
C	日常的な出来事について、話の流れを踏まえて相手に伝わるように状況を説明する力をみる。	ストーリーを英語で話す	1	✓	✓	✓
D	身近なテーマに関して聞いたことについて、自分の意見とその意見を支える理由を伝える力をみる。	自分の意見を述べる	1	✓	✓	✓

イ 評価の観点

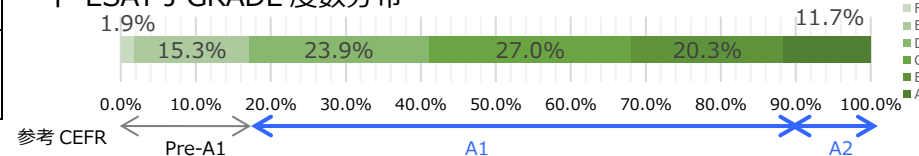
- (ア) コミュニケーションの達成度 [2段階(0~1)] コミュニケーションの目的の成立
- (イ) 言語使用 [5段階(0~4)] 語彙や表現の使い方や幅広さ、内容の一貫性、論理構成
- (ウ) 音声 [4段階(0~3)] 発音、イントネーション など

(2) 結果概要

ア 平均スコア及びスコア度数分布



イ ESAT-J GRADE 度数分布



分析

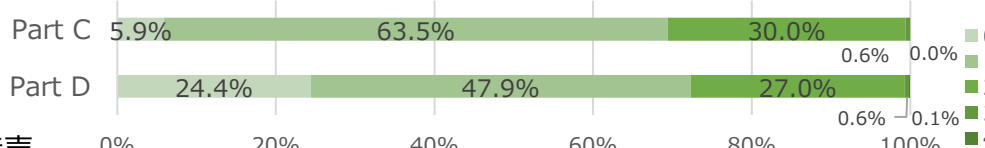
- 参考 CEFR A1 レベル以上の生徒は 8 割を超える。
 ※ 令和元年度及び令和2年度においては実施対象を一部抽出としているため、厳密な経年比較は難しい。

5 令和3年度 観点別による評価の結果

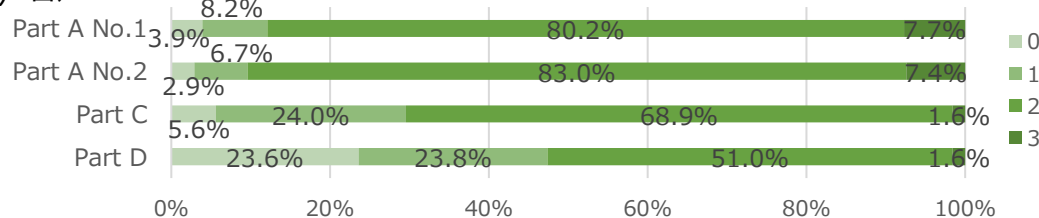
(1) コミュニケーションの達成度

Part B				Part C				Part D	
No.1	No.2	No.3	No.4	1J	2J	3J	4J	意見	理由
42.3%	54.7%	90.3%	57.2%	78.5%	33.9%	28.3%	48.2%	27.4%	39.5%

(2) 言語使用



(3) 音声



分析

- 慣れ親しんだ表現で聞かれたり、解答したりすることにおいては、相手が必要とする情報を伝えることができている。
- 客観的な事実を既習の語彙・表現を活用して伝えること、「意見」を「事実」と区別して述べること、等に課題がある。

分析

- 使用できる語彙や表現の幅の差はあるが、簡単な接続詞を使って、文を組み立てながら話すことができる解答が 7 割を超える。
- 順序立てて分かりやすく相手に伝えたり、複数の文を使って話したりすることに課題がある。

分析

- 聞き手が理解できる解答の割合は、Part A では、9 割前後、Part C では 7 割以上、Part D では 5 割を超える。
- 自分で伝える内容を考えて述べる際に、リズムやイントネーションに課題のある解答がみられる。

Part A

Part A は、全部で2問あります。聞いている人に、意味や内容が伝わるように、英文を声に出して読んでください。はじめに準備時間が30秒あります。録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。解答時間は30秒です。

【No.1】

英語部員のあなたは、他の部員に向けて、去年の冬休みの思い出について短いスピーチをすることになりました。次の英文を声に出して読んでください。

(準備時間30秒／解答時間30秒)

No. 1

On my winter vacation, I went to a mountain with my family. Do you like cold weather? I don't like it very much, so I didn't really want to go. But there were many fun things to do. I want to go there again.

【No.2】

留学中のあなたは、朝の校内放送で、美術の先生からのお知らせを全校生徒に伝えることになりました。次の英文を声に出して読んでください。

(準備時間30秒／解答時間30秒)

No. 2

Good morning. Yesterday, some students from the art class made pictures for a school event. Do you want to see what they made? You can visit the art room this afternoon to look at their pictures.

Part B

Part B は、全部で 4 問あります。質問に答える問題が 3 問と、あなたから問いかける問題が 1 問あります。画面上の情報を見て、英語で話してください。準備時間は 10 秒です。録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。解答時間は 10 秒です。

No. 1 と No. 2 では、与えられた情報をもとに英語で適切に答えてください。

【No.1】

あなたは地域の英会話クラブが行うウォーキングイベントに友だちと一緒に参加しようとしていて、そのチラシを見ながら、友だちと話しています。友だちからの質問に対して、画面上のチラシをもとに、英語で答えてください。

(準備時間 10 秒 / 解答時間 10 秒)

Question: What do we need to take to the event?



【No.2】

あなたはアメリカに留学中です。あなたは今、パソコンで来週の土曜日に学校で行われるイベントのウェブサイトを見えています。クラスメートからの質問に対して、画面上のウェブサイトをもとに、英語で答えてください。

(準備時間 10 秒 / 解答時間 10 秒)

Question: What are we going to do in the afternoon?



No. 3 と No. 4 は、同じ場面での問題です。

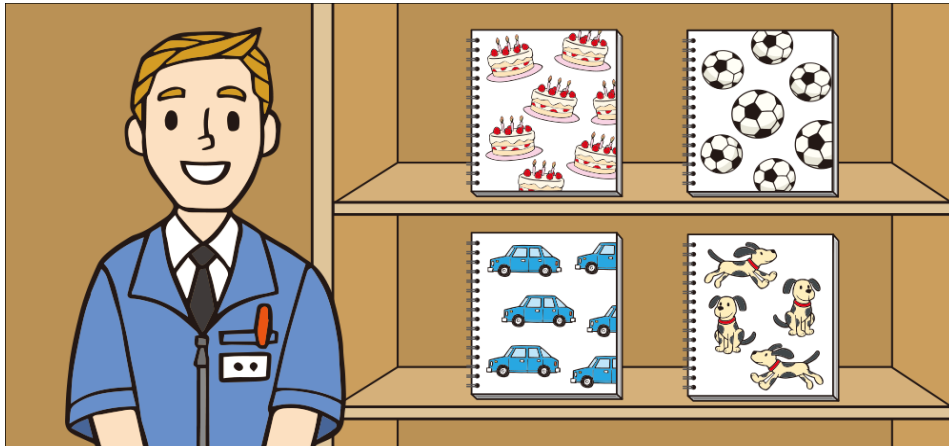
No. 3 では、質問に対するあなた自身の答えを英語で述べてください。No. 4 では、あなたから相手に英語で問いかけてください。

【No.3】

カナダに留学中のあなたは、文房具店で売り場に並べられたノートを見ています。店員からの質問に対して、画面に示されるノートについて、あなた自身の答えを英語で述べてください。

(準備時間 10 秒 / 解答時間 10 秒)

Question: Which one do you like the best?



【No.4】

次にあなたは、セール商品のポスターを見ています。画面上のポスターの情報をもとに、欲しい商品の一つを選び、それを買うために知りたいことを店員に英語で尋ねてください。

(準備時間 10 秒 / 解答時間 10 秒)

Oh, we also have a special sale today!

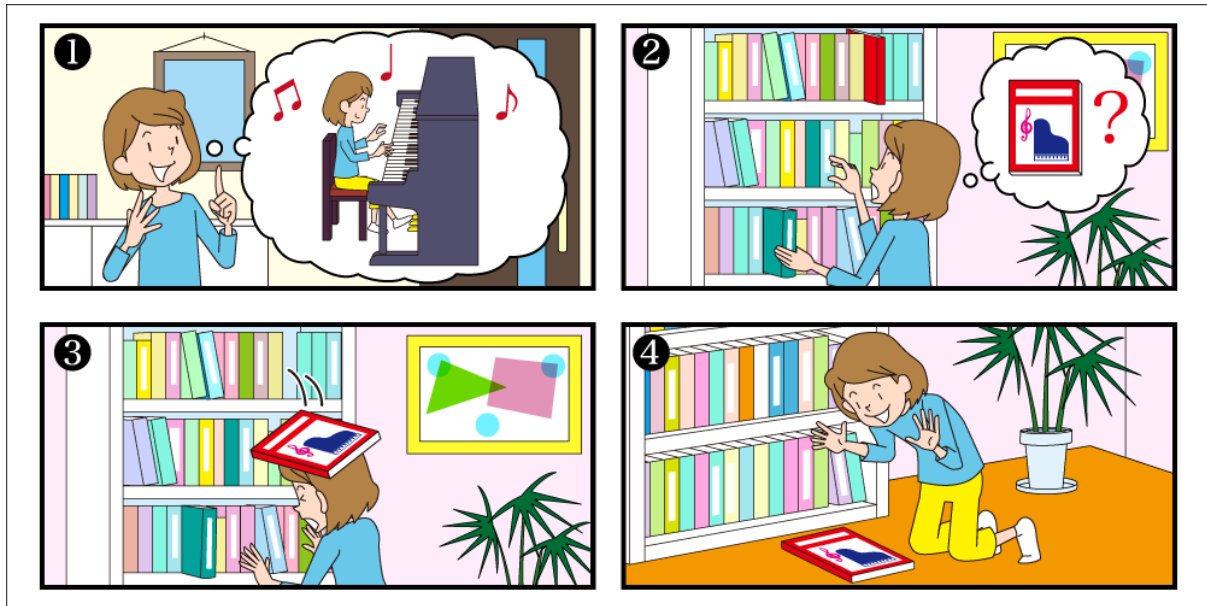


Part C

Part C は、4コマイラストの問題です。これから画面に表示される1コマめから4コマめのすべてのイラストについて、ストーリーを英語で話してください。はじめに準備時間が30秒あります。録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。解答時間は40秒です。このPartには例題はありません。

あなたは、昨日あなたに起こった出来事を留学生の友だちに話すことになりました。イラストに登場する人物になったつもりで、相手に伝わるように英語で話してください。

(準備時間30秒／解答時間40秒)



Part D

Part D は、英語で話される音声を聞いたうえで、質問に対する自分の考えとそう考える理由を英語で述べる問題です。英語の音声は2回流れます。そのあと準備時間が1分あります。録音開始の音が鳴ってから解答を始めてください。解答時間は40秒です。このPartには例題はありません。

海外姉妹校の生徒であるジョンから、ビデオレターで質問が届きました。そこで、あなたは、英語で回答を録音して送ることにしました。ビデオレターの音声を聞き、あなたの意見を述べ、そう考える理由を詳しく話してください。日本のことを紹介する場合は、知らない人にも伝わるように説明してください。

(準備時間1分／解答時間40秒)

【英語音声のみ・画面表示なし】

Hello. I heard on TV that students in Japan clean their own schools. At my school, the school workers do that. I'd like to hear your opinion on this. Who should clean the school, and why do you think so? I'm waiting to hear from you!

